

2000年(平成12年)9月21日(木曜日)

言

言

新

聞

金大統領の会見要旨

【ソウル20日】白川義和

韓国の金大中大統領が二十日、日本人記者団と行った会見の要旨は次の通り。

【日韓関係】民間、国民レベルの交流が急進展している。二〇〇二年サッカー・ワールドカップ(W杯)は、日韓が共催するだけでなく、「共同成功」のために両国の友好親善の揺るぎない基盤を築く努力を共にしなければならない。

今回の訪日では、南北首脳会談など新たな事態も踏まえ、アジア全体における韓日両国の協力のあり方を協議する。南北関係の進展に伴う日朝関係の進展や韓米日の協調も論議し、韓半島(朝鮮半島)の平和、東北アジア全体の平和と協力について意見交換する。

日韓間の海底トンネルは開通されるのが望ましいが、非常に多くの技術的検討と投資が必要だ。

【統一問題】我々が今、追求しているのは統一では

なく、南北の平和共存と平和交流だ。統一は遠い将来とならざるをえない。統一を急速に進めることは、経済的にも、精神的な葛藤という点でも望ましくない。

韓国が主張する南北連合は、一民族、二体制、二独立政府という立場で、体制を互いに認め、両国政府が現在のように独立した権限を維持し、両国が閣僚会議、国会会議などで完全に合意した事柄を実践しつつ、統一に近付くというものだ。